

2014年最もエコな大学は 岩手大学、京都工芸繊維大学、郡山女子大学、静岡大学、日本工業大学、三重大学 『第6回エコ大学ランキング』発表

特定非営利活動法人エコ・リーグ（東京都新宿区・代表 佐藤 翼）は、本日（1月30日）「第6回エコ大学ランキング」の結果発表・表彰式を JICA 地球ひろば（東京都新宿区）にて開催し、2014年最もエコな大学として岩手大学、京都工芸繊維大学、郡山女子大学、静岡大学、日本工業大学、三重大学の6校を表彰いたしました。エコ大学は「2014年度大学における環境対策等に関する全国調査」に基づき選定されています。

「エコ大学ランキング」は、エコ・リーグが全国の大学を対象に毎年夏期に実施する「大学における環境対策等に関する全国調査」に基づき、各大学の環境対策を評価する取り組みです。2009年より調査を始め6回目となる今回、146校が調査に回答しました。4つの部門を統合して評価する総合部門で最高評価を獲得した、上記の6校を「5つ星エコ大学」として選定致しました。また、温室効果ガス削減率部門1位を、十文字学園女子大学・同短期大学部、再生可能エネルギー導入率部門1位を郡山女子大学・同短期大学部と発表しました。



「5つ星エコ大学」マーク

※エコ大学ランキング総合部門は、昨年度まで順位による発表と上位3校までの表彰を行っていましたが、本年度より5段階のレーティング評価を変更し、総合得点が600/1000点以上の大学が「5つ星エコ大学」（総合部門最高評価）として表彰いたしました。

◆京都工芸繊維大学、静岡大学は初表彰

今回初受賞となった京都工芸繊維大学と静岡大学は、資源循環や環境マネジメント部門で特に高評価を得た。京都工芸繊維大学は、2003年に全国で理工系大学として初めてISO14001を導入し、近年では学内のペーパーレス化の推進により、2013年度には前年度比約6%の印刷用紙使用量を削減した。静岡大学は、例年上位校となる好成績を収めていたが、平成25年にグリーン科学技術研究所の設立を行うなど環境の研究・教育・人材育成などにもさらに積極的に取り組んだ結果が表彰にも反映された形だ。



エコ大学ランキング表彰式の様子

◆「学生一人一人がエコのことを意識し活動を」（京都工芸繊維大学 学生上田さん）

京都工芸繊維大学：大谷芳夫理事・副学長は、「今回の受賞を励みとしてさらに全学を挙げて環境安全マインドの醸成に努めたいと思います。」、工芸科学部4年生の上田智也さんは、「学生一人一人がエコのこと、環境のことを意識して活動を継続していったらと思います。」とコメントしました。

静岡大学：佐藤龍子学長補佐は、「数年前、当大学は環境報告書を学会で発表し最下位という評価であった。最下位となったことをきっかけに環境対策も抜本的に見直し、2012年には環境コミュニケーション大賞の環境配慮促進法特定事業者賞を受賞するなどトップクラスの大学となることができた。」、理学部4年生で学内で環境活動を行う山本達郎さんは「今回の受賞を機により一層自分たちの活動に励んでいきたい」とコメントしました。

◆『「エコ大学」を標語に取り組み拡大を目指す』（主催の若者グループ代表）

本調査を行ったNPO法人エコ・リーグの小竹舞は表彰意図、調査結果を次のように語っている。

・エコ大学は一部の大学のみが目指す高みではなく、すべての大学が取り組むべき社会的責任の一部として、大学関係者や経営層に認識が広まると良い。

・これまでのランキング形式に加え、今回レーティング形式を評価手法に取り入れた。大学が取り組み状況をより容易に把握することを意図したものであるが、5つ星を獲得した大学が、今後エコ大学としてのブランドを定着してゆくことも期待している。また、過去にエコ大学として表彰されてきた大学は、学内の取り組み推進にとどまらず、その成果を他大学に広げようと積極的な情報発信を行っている。さらに、弊団体の他にサステナブルキャンパスの評価指標の策定等に取り組む組織（サステナブルキャンパス推進協議会）も昨年発起するなど、大学における環境対策推進の必要性に対する認識は着実に広がりつつある。

2014年度大学における環境対策等に関する全国調査 概要

[調査期間] : 2014年8~10月

[調査対象] : 国内753大学

[調査方法] : 自己記入式アンケート調査

[回答数] : 146大学・キャンパス ※一部の大学はキャンパス別に回答

[調査項目] : §1. エネルギー・CO₂ (300点)

CO₂排出効率、CO₂増減率、再生可能エネルギー導入率

§2. 廃棄物・資源循環 (200点)

PPC用紙使用量、ペーパーレス化実施状況、廃棄物排出量削減率、紙資源リサイクル率、食糧廃棄量、食にまつわる施策実施状況

§3. 環境人材育成・研究 (200点)

環境教育実施状況、意識啓発実施状況、環境研究実施状況

§4. 環境マネジメント・USR (300点)

実施体制、各種環境目標設定内容・達成状況、内部連携状況、情報公開性、コンプライアンス遵守状況、地域貢献活動等

計4セクション・305項目 合計1000点

※評価項目の詳細および配点は別紙を参照

第6回エコ大学ランキング 結果概要

5つ星エコ大学（総合部門最高評価）

岩手大学(岩手・国立)

京都工芸繊維大学(京都・国立)

郡山女子大学(福島・私立)

静岡大学(静岡・国立)

日本工業大学 宮代キャンパス(埼玉・私立)

三重大学 上浜キャンパス(三重・国立)

【計6校】※五十音順

温室効果ガス削減率部門(5年間平均)

第1位 : 十文字学園女子大学・同短期大学部(埼玉・私立) -12.1%

第2位 : 東洋英和女学院大学(神奈川・私立) -11.6%

第3位 : 共立女子大学 神田一ツ橋キャンパス(東京・私立) -10.8%

再生可能エネルギー導入率部門

第1位 : 郡山女子大学・同短期大学部(福島・私立) 7.2%

第2位 : 日本工業大学(埼玉・私立) 6.2%

第3位 : 高知県立大学 池キャンパス(高知・公立) 4.3%

注1・・・5つ星エコ大学(総合部門)は、4セクションにそれぞれ係数をかけて(重み付けして)算出された総合得点が1,000点以上の大学が該当。

注2・・・温室効果ガス削減率は、2009年度から2013年度までの5年間の電気、ガス、重油などのエネルギーの使用に伴う温室効果ガス排出量から間伐による森林吸収やカーボンオフセットなどの各種削減量を差し引いた量の変化率の幾何平均から算出。

注3・・・再生可能エネルギー導入率は、2013年度中に学内で発電、または外部から購入した再生可能エネルギー電力量を「導入量」とし、その値を学内で消費した電力量で割った値を導入率としている。なお、学内で発電した電力を売電している分も導入量に含まれる。

「大学における環境対策等に関する全国調査」結果概要

■大学でも拡大する再生可能エネルギー

キャンパス内でのエネルギーの利用状況について回答した123校のうち、キャンパス等で太陽光発電などの再生可能エネルギーを用いて発電している大学は全体の43%にあたる53校でした。また、2011年度から2013年度までの3年間の設備容量の推移を見ると、2012年に前年度比で19%増、2013年度に同じく9%増となっており、2012年7月に始まった固定価格買取制度(FIT)などを背景に大学のキャンパスにおいても再生可能エネルギーの導入が進んでいることが分かりました。増設した大学数の推移を見ると、2012年度は34%にあたる18校、2013年度は45%にあたる24校が設備を増設したことが分かりました。ただし、導入している大学の設備容量を合計しても2013年度時点で約6.4MW程度に留まっており、大学が消費する電力全体に及ぼす影響はまだ小さいということが分かりました。

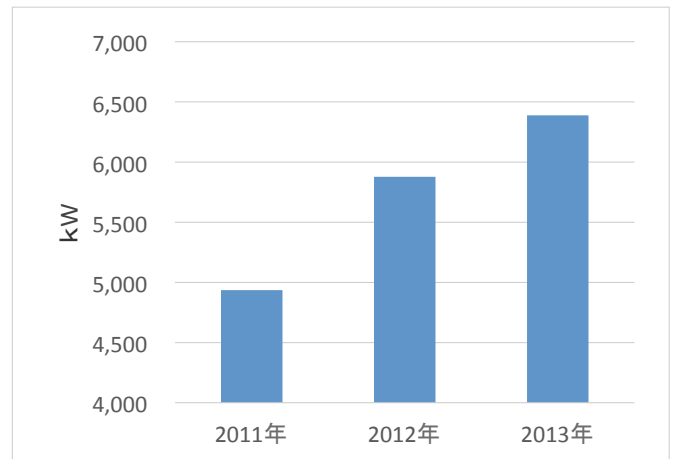


図1. 再生可能エネルギー設備容量推移

■利用が進む特定規模電気事業者 (PPS)

キャンパス内でのエネルギーの利用状況について回答した123校のうち、2013年度に特定規模電気事業者(PPS)を利用しているのは26校、過去も含めた導入実績では25%にあたる31校が導入していました。過去5年間の推移を見ると、2009年度の17校から徐々に増加していることが分かりました。また、国公立別では私立が28%と最も高く、国立が24%と続き、公立では16%とあまり積極的な利用がされていないことが明らかになりました。

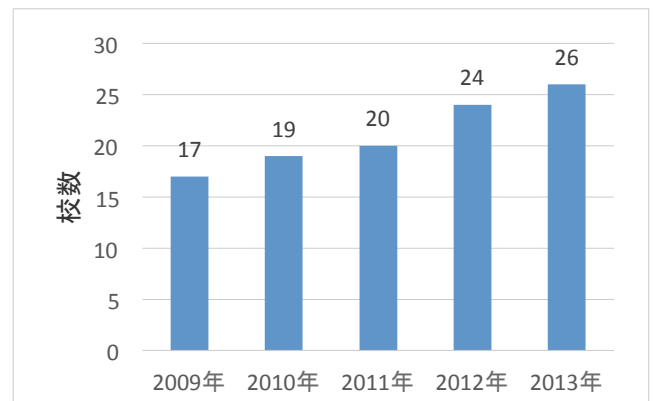


図2. 特定規模電気事業者(PPS)利用校数の推移

表1. 国公立別・特定規模電気事業者(PPS)利用状況 (有効回答数=123)

	私立	国立	公立	合計
PPS 導入有り	19校 (28%)	9校 (24%)	3校 (16%)	31校 (25%)
PPS 導入なし	48校 (72%)	28校 (76%)	16校 (84%)	92校 (75%)
合計	67校 (100%)	37校 (100%)	19校 (100%)	123校 (100%)

■ペーパーレス化の状況

キャンパス内における廃棄物・資源循環について回答した106校のペーパーレス化に関する対策状況について調査したところ、時間割の電子化は部分的に進んでおり、シラバス(講義計画)は比較的電子化が進んでいることが分かりました。シラバスを電子化していないのは1校とわずかでしたが、電子化している大学でも冊子も用意して配布している場合も半分近くに上ることが分かりました。また、レジユメ(講義資料)の電子化は教員の自主判断に任せていると回答している大学が約7割に上りました。

表2. 時間割とシラバスのペーパーレス化実施状況 (有効回答数=103)

実施状況	校数(時間割)	校数(シラバス)
(a)電子化しておらず全学生に冊子を配布している	21(20%)	1(1%)
(b)電子化しているが全学生に冊子を配布している	37(36%)	31(30%)
(c)電子化して希望する学生のみ冊子を配布している	20(19%)	13(13%)
(d)電子化をし冊子の配布は行っていない	20(19%)	54(52%)
無回答	5(5%)	4(4%)

有効回答数合計	103(100%)	103(100%)
---------	-----------	-----------

表3. レジユメのペーパーレス化実施状況(有効回答数=105)

実施状況	校数
(a)電子化を実施していない	12(11%)
(b)教員の自主的判断により電子化を実施している	77(73%)
(c)一部のキャンパス・学部にて電子化を実施している	8(8%)
(d)全学的に電子化を実施・徹底している	2(2%)
無回答	6(6%)
有効回答数合計	105(100%)

【団体概要】

特定非営利活動法人エコ・リーグは、環境活動を行う全国の若者が運営するNPO法人です。1994年に設立されて以降、一貫して持続可能な社会の実現を目指し、若者主体の環境活動の活性化に取り組んでいます。2008年に気候変動対策に取り組むCampus Climate Challenge実行委員会を発足し、2009年より大学の環境の取り組みに関する一斉調査を行い「エコ大学ランキング」を発表しています。調査項目の検討、評価は環境活動に取り組む学生が中心に行っています。

※本事業は、(独)環境再生保全機構H26年度地球環境基金の助成を受け行っております。

設立：1994年(2012年2月法人格取得) 代表：佐藤 翼

所在地：東京都新宿区神楽坂2-19 銀鈴会館507 HP：<http://el.eco-2000.net/>

【本件に関するお問い合わせ】

特定非営利活動法人エコ・リーグ 担当：小竹・北橋

TEL(直通・推奨)：090-9322-2602(小竹)、090-8539-7787(北橋) TEL(代表)・FAX：03-5225-7206

E-mail：ccc@eco-2000.net HP：<http://ccc.eco-2000.net/>

■上位校問い合わせ先

○国立大学法人岩手大学 環境マネジメント推進室 担当：赤谷 隆一 TEL：019-621-6912

○国立大学法人京都工芸繊維大学 環境マネジメント事務局 担当：永本 郁子 TEL:075-724-7962

○郡山開成学園 管財部 担当：緑川 洋一 TEL：024-932-4848

○国立大学法人静岡大学 財務施設部 施設課 担当：園田 秀久 TEL：054-238-4441(ext.4441)

○日本工業大学 環境推進事務局 担当：原 渡 TEL：0480-33-7486 E-mail：iso14001@nit.ac.jp

○国立大学法人三重大学 国際環境教育研究センター支援室 担当：村林 正紀 TEL：059-231-9823